

愛媛県立とベ動物園にて、音声MRプラットフォーム Aurisを活用した体験を提供開始。園内における体験の高付加価値化、複層化を図る。

採択事業者名 株式会社GATARI
コンソーシアム構成員 愛媛県立とベ動物園

事業概要

目的

GATARIが提供する『Auris』は空間のスキャンから空間編集、クラウドへの保存、マルチプレイヤーでの復元・体験までをスマートフォンのアプリケーション上でワンストップで実現可能な世界初のARcloudオーサリングツールである。これを活用し、動物園における体験の高付加価値化、複層化を図り、集客や顧客満足度の向上に寄与する。

課題

とベ動物園においては、動物の魅力を積極的に発信したいという想いがある一方で、既存業務に追われ、満足な発信が難しい状況にあった。また、特に若年層を中心とした集客に課題があった。



解決策

弊社が提供するMRプラットフォームAurisによって、人的なリソースを割くことなく、また既存の設備に干渉することなく、動物園が本来的に持つ魅力をインタラクティブに提供することが可能となった。また、著名なアーティストとコラボすることで、若年層を中心とした新しい顧客層の獲得が期待されている。



取り組み内容	検証項目
<p>とベ動物園内にて、無償の①どうぶつガイド、有償の②どうぶつ謎解きコンテンツの提供を2024年4月から開始予定。①どうぶつガイドについては、動物の知識を深く知れるだけでなく、Aurisを活用することで、より没入度高く、かつインタラクティブに、楽しめる内容とした。②どうぶつ謎解きについては、愛媛県出身の著名なアーティストとコラボレーションすることで、動物園側に課題のあった若年層を中心として集客が期待できるコンテンツとなっている。</p>	<p>・高付加価値化 →とベ動物園の潜在的な魅力を発信することで、来場者のエンゲージメントを高める。</p> <p>・多層化 →様々なターゲットのニーズにワンストップで対応するため、同一キャンペーンデータから複数のコンテンツを用意する。</p>
	<p>取得データ</p> <p>体験人数、各スポットでの滞在時間等の定量的なデータに加えて、アンケートにより満足度や再体験意向といった定性的なデータを取得していく。</p> <p>データ活用による考察・示唆</p> <p>実施については、2024年4月以降を予定。</p>

成果と今後

成果(含む想定)

キックオフの遅れや、とベ動物園さまとの調整に時間を要した結果として、年度内の実証に至らなかったものの、準備過程の中で、動物園様の協力を得ながら、体験に対する確かな手ごたえを得ている。

		実装前	実装後(～今年度)	今後3年
定量面	金額	—	—	—
	重要指標	<ul style="list-style-type: none"> とベ動物園においては、音声ガイドや動物に関連した謎解きコンテンツは実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験人数、各スポットでの滞在時間を計測 体験者に対して、アンケートを実施し、満足度や再体験意向を調査 	<ul style="list-style-type: none"> 他の施設でも同様に、体験人数や各スポットでの滞在時間といった定量データに加えて、満足度や足体験意向を向上させる。
定性面		<ul style="list-style-type: none"> ①既存業務負担が重く、動物の魅力を発信する新規施策の実行が難しい、②若年層の集客といった課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社MRプラットフォームAurisの活用により、人的リソースを割く必要がなく、新しい価値を提供できるため、動物の魅力を積極的に発信できるほか、県内出身の人気アーティストの起用で、若年層の集客が見込める。 	<ul style="list-style-type: none"> とベ動物園における体験提供を継続的に行っていくことに加えて、県内の見学施設、歴史的建造物において展開していくことで、様々な潜在的な魅力を顕在化させ、高付加価値化していく。

次年度以降の実装計画/見立て

とベ動物園において、①どうぶつガイドと、②どうぶつ謎解きの2つを2024年4月を目途に実施し、順次データを取得しながら継続的な運用を行う。運用に当たっては、導入側の運用負担がほとんどなく、最新技術が導入できることを実証する。